栃木県　農業分野（いちご）における地場産業成長プランの概要

1．支援する分野
いちご

2．支援する地域及び核となる事業者
【支援する地域】
県内25市町のうち生産者や流通・販売事業者が集積する地域

【核となる事業者】
栃木県農業協同組合中央会
全国農業協同組合連合会栃木県本部
（一社）とちぎ農産物マーケティング協会
とちぎ観光いちご園連絡協議会



3．目指す姿（目標）

（１）現状の整理
●主力品種を「とちあいか」に切り替え、販売額は増加傾向にある。
●気候変動や資材費高騰などの情勢変化の中、「いちご王国・栃木」を更に発展させるためには、生産から流通、販売、消費に至るまでの様々な改革を進める必要がある。

（２）目指すべき目標（2023→2036）
●付加価値増加額
100億円　（277億円→377億円）

4．勝ち筋

（１）基本戦略
●輸出による外貨獲得と、観光いちご園による本県への誘客促進により、周辺地域への相乗効果を生み出す。
●第一次産業のみならず、第二・三次産業にも波及効果を高め、地域経済の拡大を図る。

（２）目指すべき姿
●研究（いちご研究所）・教育（農業大学校いちご学科）体制や本県開発品種のポテンシャルを生かし、「いちご王国・栃木」ブランドの世界展開を支える生産体制を構築する。

5．政策手段

（１）取組に向けた課題
●人材の確保や、少人数でも生産性を維持できる栽培の省力化・効率化が急務である。
●国内消費が減少傾向であるため、輸出拡大や観光いちご園等への誘客促進などの強化が必要である。

（２）講じるべき政策パッケージ
●いちご生産者・被雇用者の確保・育成
●単収向上と高品質の両立に向けた支援
●「いちご王国・栃木」ブランドの世界展開に向けた各種プロモーションの実施